

# **授業科目シラバス 【2年生】**

**学校法人すみれ学園  
鹿児島天文館メディカルカレッジ**









【科目名：電子工学実習】							
学科	臨床工学	必修・選択	必修	総時間	45時間	年次	2
担当教員	岩井田 早紀	授業形態	実習	単位	1単位	授業回数	23回
実務経験の有無							

## 【授業の学習内容】

授業概要	前半は、1年次の電子工学で学習したオペアンプを用いた回路を組み立て、理解を深める。後半は、ダイオードやトランジスタ等を用いた回路をシミュレーションして理解を深める。		
回	学習内容	回	学習内容
1	反転増幅回路（1）		
2	反転増幅回路（2）		
3	非反転増幅回路（1）		
4	非反転増幅回路（2）		
5	加算回路（1）		
6	加算回路（2）		
7	減算回路（1）		
8	減算回路（2）		
9	微分回路（1）		
10	微分回路（2）		
11	積分回路（1）		
12	積分回路（2）		
13	比較回路（1）		
14	比較回路（2）		
15	シミュレーション-ダイオード-（1）		
16	シミュレーション-ダイオード-（2）		
17	シミュレーション-整流回路-（1）		
18	シミュレーション-整流回路-（2）		
19	シミュレーション-トランジスタ-（1）		
20	シミュレーション-トランジスタ-（2）		
21	シミュレーション-フリップフロップ等-（1）		
22	シミュレーション-フリップフロップ等-（2）		
23	期末試験		
学習方法	前半はオペアンプを用いた回路を実際に組み立て、後半はパソコン上で回路を組み立てシミュレーションを行う。		

【到達目標】

- (1) 協調性を身に着けること
  - (2) 与えられた課題を最後まで取り組み、実験結果や導き出した自らの考えを的確かつ簡潔にわかりやすく伝えること
  - (3) 論理的かつ定量的に説明することができるこ

## 【成績評価方法】

平素の学習状況、出席状況、レポートの内容及び提出状況などを加味した上で総合的に行う。











【科目名： 計測工学】							
学科	臨床工学	必修・選択	必修	総時間	30時間	年次	2
担当教員	岩井田 早紀	授業形態	講義	単位	2単位	授業回数	15回
実務経験の有無							

## 【授業の学習内容】

授業概要	計測の全体像を概観し、生体計測への応用を意識しながら、生体における信号について学び、その検出のためのセンサ、伝達における問題点、定量化の方法、アナログとデジタルの関係など、計測システムの要素についての工学的基礎を学習する。			
	回	学習内容	回	学習内容
1	測定値と誤差の処理（1）			
2	測定値と誤差の処理（2）			
3	測定値と誤差の処理（3）			
4	生体情報の性質と計測（1）			
5	生体情報の性質と計測（2）			
6	生体情報の性質と計測（3）			
7	生体の電気磁気的特性を利用した計測			
8	生体の熱的特性を利用した計測			
9	生体と放射線の相互作用を利用した計測			
10	生体の超音波特性を利用した計測			
11	生体の光学特性を利用した計測			
12	生体化学量の計測			
13	生体情報の処理			
14	画像の計測処理基礎			
15	試験			
学習方法	教科書に基づき内容を理解し、配布プリントで演習を行う。			

【到達目標】

医療における計測学は、対象とした生体を正確に把握する信号、情報を扱うものであり、それを基に治療・治癒などの行動が開始される。そのため、それらをどのように生体から取り出し、どう処理するかということは重要なことである。本講義では、生体を計測するための種々の方法を、その基本原理を重視しつつ理解し、得られた信号・情報を処理し有用な情報にしていく手法について学ぶ

## 【成績評価方法】

定期試験（期末試験）の成績が9割を占め、残り1割は平素の学習状況やレポートの提出状況などで行う。





















【科目名：		実習指導 I			】	
学科	臨床工学	必修・選択	必修	総時間	30時間	年次
担当教員	金子 克	授業形態	講義・演習	単位	1 単位	授業回数
実務経験の有無		有				

## 【授業の学習内容】

授業概要	医療人として、また社会人として必要な知識・技術を身に着ける。 (接遇や個人情報の取扱、感染対策など)
回	学習内容
1	接遇1(挨拶・表情・身だしなみ・態度・言葉遣い・規律の遵守) グループワーク
2	接遇2(挨拶・表情・身だしなみ・態度・言葉遣い・規律の遵守) グループワーク
3	接遇3(挨拶・表情・身だしなみ・態度・言葉遣い・規律の遵守) グループワーク
4	基本的な知識・技術1(守秘義務・個人情報保護)
5	基本的な知識・技術2(標準予防策・感染経路別の予防策) 実習
6	基本的な知識・技術3(清潔、不潔の区別・手洗いの実施・ガウンテクニック) 実習
7	基本的な知識・技術4(清潔、不潔の区別・手洗いの実施・ガウンテクニック)
8	基本的な知識・技術5(マスク・キャップ・エプロン等の脱着) 実習
9	基本的な知識・技術6(マスク・キャップ・エプロン等の脱着) 実習
10	基本的な知識・技術7(自らに感染症が生じた場合の対応) 実習/座学
11	基本的な知識・技術7(インフォームドコンセント) 座学
12	接遇グループチェック(挨拶・表情・身だしなみ・態度・言葉遣い)
13	感染対策グループチェック(標準予防・清潔、不潔の区別・手洗いの実施・ガウンテクニック)
14	感染対策グループチェック(マスク・キャップ・エプロン等の脱着テクニック)
15	終講試験(筆記)
学習方法	CE臨床実習ルートマップ(メジカルビュー社) 臨床実習が楽しくなる本(丸善出版)

【到達目標】

- ・挨拶・表情・身だしなみ・態度・言葉遣い・規律の遵守・守秘義務・個人情報保護の重要性を理解し  
ができる
  - ・標準予防策・感染経路別の予防策の重要性を理解する
  - ・清潔・不潔の区別・手洗いの実施・ガウンテクニックの重要性を理解し実践することができる

## 【成績評価方法】

出席状況、終講試験、実技試験、課題レポートの提出内容および日常生活態度等を教員全体で評価(医て将来働くことを鑑み、挨拶・礼儀などが身についているか)し総合的に評価する。

2

15回

実践するこ

療従事者とし

